



西麗会会報



埼玉県立浦和西高等学校同窓会

西麗会ホームページ <http://www.seireikai.org/>

4月24日(日曜日)母校で会いましょう

総会
は
日曜日
開催
です



「カッコよかったよ」 2010年9月 西高祭にて

(撮影 斉藤俊一)

今年も日曜日開催です。おまがえのないよう声をかけ合ってお出かけください。

- 講師 本橋 恒雄先生
- ① 懇親パーティー
- ② 家庭教育について
- ③ 懇親パーティー

*

会場 西高50周年記念館

内容 ① 総会

日時 4月24日(日)

10時30分 開会

11時30分 記念授業

12時40分 懇親パーティー

14時30分 閉会予定

西麗会総会のご案内

2011



会長あいさつ

「総会に参加しよう」

西麗会会長 高橋幸雄



全国の西麗会会員の皆さん、お元気ですか。今年もまた、年一度の西麗会会報をお届けする季節が巡ってまいりました。

会員の皆さんには、昨年度も変らぬご支援・ご協力をいただき、心より御礼申し上げます。特に、本会活動の基盤を成す全国各地から寄せられるご寄附（これが無ければ会報の発行が出来ません）や懐かしいお便りに、役員一同がどれだけ勇気づけられていることか、一同を代表して改めて御礼申し上げます。

さて、今年も四月の第四日曜日に、本会総会が開催されます。

昨年度の事業・会計報告をご審査いただき、新年度の事業・会計計画をご検討いただくために、ぜひ母校へお帰り下さい。毎年ご好評の記念授業は本橋先生（詳細は、本紙プロフィールをご覧ください）です。総会終了後の懇親会では、懐かしい師やあの友この友と大いに語り明かして、いつとき西高時代にタイムスリップしてみたいかがでしょうか。ただし、アルコールは出ません。料理は、ふんだん（？）です。もちろん参加費は無料です。

お待ちしております。



記念授業講師は本橋恒雄先生(書道)

テーマ「家庭教育について」



本橋先生は昭和四十五年(1970年)に書道教師として西高に着任され、昭和五十二年まで七年間にわたり西高生を指導されました。先生が勤務された期間は、学園紛争の直後から制服自由化にかけてのまさに西高の激動期にあたります。書道部を指導するかわら弓道部の顧問も担当し、関東大会及び全国大会出場に導き、弓道部の第二次の全盛期を築きました。

先生にとつての西高時代の一番の思い出は、生徒会顧問の立場で、連日、深夜まで生徒たちと議論したことだそうです。制服の自由化に伴い、標準服の位置づけを明確にするなど大変、苦勞されました。先生は馬力があつて精力的に動き回っていたので、「ダンブカー」というあだ名がついたそうです。

西高の次に先生の母校である春日部高校に異動され、その後は教育委員会での勤務を経て管理職となりました。春日部高校の校長として退職された後は、県立総合教育センターで、教育相談委員として指導にあたられました。

今回は、教育相談委員としての経験を踏まえて、「家庭教育」についてお話し頂きます。人間生活の基盤である家庭について、一緒に考えてみましょう。

私と西高 愛を力に変えて

川田(旧姓羽島)康恵
(昭和六十三年卒)



核になっていきます。

あつという間の三年間

卒業してあつという間に二十三年が経ちました。著名な学者がある番組でこう言っていました。「その人にとって初めての出来事、体験の多い日々を送っていると一日が長く感じられる。年をとって初めてのことが無くなると時間の経つのが早く感じられる」のだそうです。考えてみると、西高での一日は長かった。西高で過ごした三年間は、このあつという間の二十三年と同じくらい時間に思えます。それはまさに私にとって「初めて」の宝庫だったからに違いありません。そして、その「初めて」体験は、今の私を形成する重要な

私立から西高へ

私は、私立のミッション系女子中学の出身です。小学生から制服を着て、満員電車で揺られて通学していました。そんな私に訪れた公立の共学校へ私服で自転車通学する毎日。自由な息づかい、生きていることを実感する学校生活でした。その反面、自分の行動の責任は全て自分で負わなければならぬことを勉強させられました。

生徒会長に

二年生時、無謀にも生徒会長になりました。特に生徒会の経験がある訳でもなく、突然立候補の信託投票。言わば何も知らない能力の無い会長でした。また、当時珍しい女性会長でした。注目されたし、批判もされました。出る杭は

打たれる実体験をしました。どういった言動が批判を受けるのかを勉強し、非難に耐え得る心をもっていました。三年時の文化祭では、「開セレ」でミュージカルを演りました。当初受験を控えてクラスメイトは当然反対しましたが時間をかけて話し合い「開セレ」参加を果たしました。信念をもってやり遂げる力と自信を得ました。

卒業式一日の丸掲揚問題で社会問題と対峙する機会を得ました。自分のことだけに拘泥するのではなく社会に関心を持つことの大切さを学びました。

異なる文化の人々が ひとつに

私は今、カトリック教会の国際交流センターで外国人信徒の生活相談に対応する傍ら、難民及び難民申請者の支援活動を行っています。人権擁護団体やNPOと連携しながら、異なる文化を持つ世界の人々が一つにつながり、互いに愛し合う関係へと向かうことができよう、微力ながら政策提言などの手伝いに奮闘しています。

(註)文中の「開セレ」とは、「西高祭」の開会セレモニーの略。当時の西高祭では、各学年から一クラスが開会セレモニーに出演した。

川田康恵さんは、西高時代の昭和六十二年に生徒会長。ご本人の理解では共学になってから二人目の女性の生徒会長だと言う。その後会社勤めのかたわら浦和のカトリック教会を軸に外国人支援の活動や、薬物依存者らの立ち直りを応援する「ダルク」支援等の活動を展開している。



あの先生は今

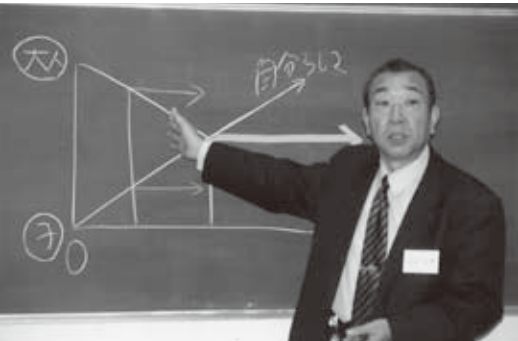
MESSAGE
2011
March

平成二十二年四月二十五日に開催の西麗会総会の案内状にご回答いただいた先生方の返信の一部を掲載いたします。紙面の都合ですべての先生がたのご紹介ができないことをお詫びいたします。

また、一部抜粋しておりますのでご了承ください。(敬称略)

- **江戸川区 村田秀子 (体育)**
九十四歳になり娘と一泊で静岡のサポテン公園へ参り、掌に乗る小さいのから目を見張る巨大なサポテンを見て楽しいひと時を過ごしました。
- **宇都宮市 寺内房江 (事務)**
会報有難う御座います。八十九歳の今、年々薬が増えるものの良くなる部分もあり感謝です。「目覚むれば腰の痛みの治まりて身を起こしつゝそつとほゝ笑む」長い友情にも。
- **相模原市 平山良吉 (英語)**
浦和西高は小生にとって懐かしい思い出です。小生も満八十六、心身が衰えました。教員を定年で辞

- **八王子市 藤井くに子 (養護)**
会報何時もありがとうございませう。私も八十二歳になり元気に過ごしております。西高勤務当時を懐かしく思います。
- **鴻巣市 吉住登喜江 (事務)**
西麗会会報をいただき懐かしさがこみあげて参りました。有難うございます。今子育てアドバイザーとして元氣と若さをいただいております。盛会を祈念します。
- **さいたま市 椎根恒美 (国語)**
ご盛会を祈ります。優れた先輩・同僚と、賢い生徒に囲まれた西高勤務は最も楽しい忘れられない貴重な十年間です。あの人、あの事、懐かしい思い出を胸に八十歳の余生を送っております。
- **東松山市 荒井 桂 (社会)**
拝復。御案内有難うございませう。御盛会を祈念申し上げます。 敬具



▲柴崎武宏先生 2010年4月総会にて

- **川越市 長谷川肇志 (数学)**
会報を有り難うございます。卒業生皆さんの同期の集まりに、よき西高の姿を顧み感銘を深くしています。私は趣味中心の生活です。西麗会のご発展を祈ります。
- **さいたま市 大木義夫 (理科)**
現在八十五歳になりました。四年前に軽い脳梗塞になりました。一日おきの接骨院医師の来訪によりリハビリにより回復しつつあります。歩行不自由ですので欠席。
- **さいたま市 山口畑一 (社会)**
花の咲く頃になると四十年前の在職時の先生方や生徒さんのことが懐かしく思い出されます。春來なば野にいで風と戯れよ すみれの花の捜しあぐぬも
- **さいたま市 奥野和子 (体育)**
昨年十一月末に西高卒三十五周年記念同窓会にご招待いただきありがとうございました。西高での最後の担任をさせていただいた学年で感無量。元氣で過ごしていた幸せを感じました。
- **さいたま市 関根みよ (国語)**
九十六歳になりました。(代筆)
- **さいたま市 悴田てる (家庭)**
会報をいつもありがとうございます。皆様から元氣を頂きながら卒寿を越え体も小さくなりました。「卒寿なる我をためすか南瓜切る腕の力はまたたしかなり」
- **さいたま市 中村 清 (国語)**
今春、喜寿を迎えました。メタボの判定を受けておりますが、気にもせず、マイペースの生活を送っております。
- **鉾田市 齊藤 恂 (国語)**
家庭教師で英語と数学と物理(少々)を教えていた子が芝浦工大に入りました。国語だけは難しく教えてられませんでした。(私に国語を教わった皆さん、ごめん)。
- **川越市 吉沢義和 (書道)**
会報ありがとうございます。今年先生方のおたよりが少なく感じ



▲柴崎武宏先生 2010年4月総会にて

ましたがいかががでしようか。小生、相変わらず文教大学でオープンキャンパスの講座を担当しています。

●東松山市 館野俊則 (国語)

六十五歳を期して、高校管理職コースを辞め、国語の教員に戻りました。今年は、大学や専門学校、企業研修等で、文章表現法や日本語検定の授業をやっています。

●鳩山町 和田幸男 (社会)

西高の教育活動の成果は西麗会報、マスコミ報道等で承知し喜んでいきます。関係者の尽力と生徒諸君の努力の結晶と考えます。総会での再会を楽しみにしています。

●さいたま市 澤田由紀男 (数学)

「西高」この言葉で十四年間勤務した日々がなつかしく心によみが

えつて来ます。今は、勤務校と言うより自分の母校であるような気持ちです。西麗会の発展を祈念します。

●上尾市 楚山大和 (英語)

市川市の某大学に一時半かけて通い続けて五年目に入りました。相変わらず骨董市めぐりと盆栽、ジョギングを楽しんでいます。NHKの「古文書講座」も受講しています。

●さいたま市 柴崎武宏 (理科)

ピア・サポートの考え・実践を教育現場にと活動しています。教員間、保護者間等で活用できる方法です。教員養成の講座を大学で受け持っています。

●さいたま市 芳野弘明 (教頭)

第二高女で教育実習、西高で教職員として二年間お世話になり思い出多い学校です。今でも西麗会報を送つてくださり感謝しています。

●川口市 岡沢静子 (国語)

元気です。

●吉見町 堀口幸夫 (教頭)

毎年総会を開催、さすが伝統を誇る西高同窓会と存じます。昭和の終わり頃、自主豊かな生徒と良識ある職員の中で、教頭を務めました。楽しい二年間でした。

●川越市 中村正美 (英語)

約三十年ぶりに西高の卒業生が私の退職祝いを行ってくれました。当時の生徒達ももう四十代の後

半、こちらが年をとるのも当然、本当に楽しいひと時でした。

●さいたま市 永瀬正臣 (校長)

卒寿を迎え、年令相応の障碍を抱え乍ら、冤罪者の救援活動等に従事しています。総会には出席できませんが御盛會と御校の益々のご発展をお祈り申し上げます。

●さいたま市 八重島昭子 (国語)

ご連絡ありがとうございます。歳をとりましたせいでしようか、出かけるのが億劫になりまして、失礼いたします。ご盛會をお祈り致します。

●さいたま市 黒沢和子 (家庭)

三年前、非常勤講師として食文化論を教えたことがきっかけとなり、時々大学の研究室で日本の食生活の歴史に関心と興味を持つ様になったこの頃です。

●熊谷市 佐藤嘉信 (数学)

退職して四年目に入ります。農作業の合間に、釣りや絵など描いて過ごしています。西麗会たよりに見知った名をさがして、西高で過ごした日々を懐かしんでいます。

●さいたま市 菅原鉄也 (国語)

息子・娘と一緒に、冬はマラソン大会参加。夏は登山。そして、週末農業を楽しんでいます。今年の公開講座は『漱石を読む』を予定しております。

●川口市 五ノ井博康 (英語)

昨年十一月二〇〇〇年卒生の同窓

会が卒業十年を記念して大宮ボラボラでありました。旧担任も私を含めて六名参加しました。

●さいたま市 安立雅信 (英語)

西高から川口青陵高校に転勤して十年、この四月から浦和北高校で教えることになりました。元気でやっております。

●東京都北区 堀川ひろみ (国語)

欠席します。

●さいたま市 小林 功 (国・司)

浦和西高卒業生の皆さんが、それぞれの地で自分らしく生きていかれるよう願っています。

●さいたま市 服部昭五 (英語)

平成二十一年、西高で十年間を機に、定年退職しました。頼もしい同僚や個性豊かな生徒達に囲まれ、西高ならではの貴重な経験を沢山させて頂き、感謝しています。

●伊奈町 本多 昇 (教頭)

平成二十一年と勤務させていただきました。二年間とは思えないほど様々な変化を経験させていただきました。また、浦和西高の伝統の力と県民の期待の大きさを感しました。現在、川口市立川口高校に勤務しております。ご好意により進学指導に関して、市立川口高校も浦和西高の取り組みに加えていただくことになり感謝しております。

祝

鈴木良三氏が サッカー殿堂入り



サッカー部OBの鈴木良三氏(昭和三十三年卒)がサッカー殿堂入りを果たしました。

平成二十二年十月二十四日、浦和四校サッカー部OB交流会が開かれた市立浦和高校のグラウンドでインタヴューをしました。

— 殿堂入りおめでとうございませす。先ずは、御感想を伺います。

平成二十二年九月十日に文京区の日本サッカーミュージアムで式典とパネル展示があった。いただいた記念プレートは自宅に飾ってある。殿堂入りは、光栄の至りで感激でいっぱい。今日みたいに、浦和の四校で切磋琢磨して来たたまものと皆さんに感謝している。

— 次に、西高時代の思い出をお聞かせください。

一年生の夏まで卓球部に、その

後はバレーをやっていた。冬の一月から同級生五人に誘われて初めてボールを蹴った。当時は、埼玉大学付属中のグラウンドで、三年生はいなかった。

二年生になって、新生生の田村公一がサッカー部に入ってきた。ウイングでこれがめちゃうくちやうまい、練習で毎日ぶつかる。最初は抜かれて、全然ボールをとれない。彼のおかげで上手になった。

それに藤波先生の叱咤激励があり、細かいことは三浦先生に教わった。昭和三十三年に高校選手権で全国優勝を果たした。

— サッカーで一番印象に残っていることは何でしょうか。

二十歳の時に初めてクラマーさんと会ったこと。それまで、その場限りのサッカーだったが、系統的なサッカーを初めて教わった。蹴り方の基礎から、パスの出し方、動き方、クラマーさんから手取り足取り全てを教わった。理論的な説明にみんなが納得し、いまだに強烈な印象を持っている。

立教大学四年の時、藤沢で合宿していた日本代表と練習試合をし

た。試合を見ていたクラマーさんの抜擢により日本代表チームに参加することになった。現在があるのは、クラマーさんのおかげ、サッカーのみならず人生の恩人です。

— 西高について
当時は、いい学校だった。時代は変わったが、自由な校風をいつ

日幸堂さん 42年間ありがとう

体育館での部活組は東門の「おばちゃんち」へ。そして文化部や帰宅部の生徒は正門の「日幸堂」へ。私が西高生だったころはそんな住み分けがあったような気がします。

1969年から42年間の長きにわ



▲1994年ごろの日幸堂

までも守って欲しい。
デットマール・クラマーさんを紹介した『大和魂のモダンサッカー』(加部究著(株)双葉社発行)に鈴木良三氏が登場します。是非、御一読を。
(聞き手 大熊幸雄)

たつて西高生がお世話になった「日幸堂」さんが、2010年9月をもってその歴史に幕をおろしました。西高に学生食堂ができる前は店頭は西高生であふれ返っていました。なかでも30円のチェリオが人気でした。西高生をやさしく迎えてくれた奥様の滝口さんは、店を閉じられた今、ご主人と趣味の市民農園を楽しんでいらつしやることや、ご子息も西麗会員であることなどを以前と変らぬ若々しい笑顔で話してくださいませ

日幸堂さん、42年間西高生を見守ってくださり、ありがとうございます。ありがとうございました。これからもお元気で過ごしてください。

日幸堂さんの思い出、
日幸堂さんへの
感謝のメッセージ等
お寄せください

西麗会HPか
同封のハガキでどうぞ。

あの友
この友



題字・カット
山本鐘互
(昭和40年卒)

新宿区 大濱愛子 (昭和13年卒)

会報34号では、私達の米寿を祝っていたいただき、ありがとうございます。改めて昔なつかしい友を思い出しております。西麗会の発展を祈念いたします。

さいたま市 高橋美智子 (昭和16年卒)

夫婦ともども八十路を超えました。一日一日を大切に暮らしていきたくと思っています。世界中が平和であることを心から祈っています。皆さんお元気で

白井市 澁谷定子 (昭和22年卒)

子供たちは遠くに住み我等夫婦も高令となり不安を覚え終の住所に移りました。すこやかな人生でありますように・・・

戸田市 山根祥二 (昭和31年卒)

昭和二十八年臨海学校(伊豆西海岸戸田)に参加しました。峰岸校

長、矢田先生沢田先生と共に泳ぎ、夜はボートに乗り夜光虫を観察しました。五十六年ぶりに家内と行ってみました。小田急線新宿駅より「あさぎり号」で沼津駅へ、さらに高速船に30分乗り戸田港に着きました。以前泊った宿は「はるきや」で今は廃業、沼津市と合併した戸田温泉には民宿他が50軒もあります。

はるきやのすぐ前が海で砂浜があり漁船が三隻ほど置かれていました。今は埋めたてられ家や道路が出来、昔の宿は海から遠くなっています。泳いだ東大寮のある御浜海水浴場は昔と変わらず自然が残っていました。特に海水浴場と駿河湾の間の松は見事です。大きくなっていました。私は元「はるきや」の近くの「峯松」という民宿に泊り、泳いで、又おいしい御馳走を戴きました。

長野県北佐久郡

難波竹一郎 (昭和31年卒)

一昨年末は女房が小脳付近にうみが溜る脳膿瘍で手術、無事復活。今年私は私が腰痛による坐骨神経痛で右膝痛のため歩行困難。復活を目指し長生館で骨の矯正中です。

さいたま市 荒井利尚 (昭和31年卒)

思いがけず初めての入院生活を経験いたしました。幸いにも無事回復し、心身ともに再生することができました。今更ながら健康の有り難みを痛感すると共に、今後は健康管理に十分気を付けていきます。

川口市 竹ノ谷光美 (昭和33年卒)

私達昭和33年卒業生は、昨年9月



▲2009年9月 西高にて

5日に賑やかな西高祭を見学し記念品を寄贈しました。その後ラフしさいたまにて同窓会を開催しました。

文京区 林野 宏 (昭和36年卒)

いよいよ人生も終半を迎えつつあります。90才迄元気で生きられるようがんばっていきたくと思います。皆様どうか健康に注意して長生きをしましょう。

さいたま市 秋山圭子 (昭和37年卒)

60才から入学のいきがいが大学蔵学園一年、さいたま市シニア大学二年、いきがいが大学伊奈学園二年を今春卒業します。西高時代愈けたツケを少し払えたでしょうか。

さいたま市 斎藤俊和 (昭和37年卒)

これからも西高を見守っていきま。住まいが西高の近くで散歩しながら西高の周囲を歩いています。少しずつ西高も変わっていますね。更に頑張ってください。

船橋市 福島英樹 (昭和37年卒)

今年一月三日サッカー部初蹴りに何十年?かぶりに母校を訪れました。学校の周辺の変貌にびっくりです。機会があれば校舎屋上から景色を眺めたいものです。

市川市 久保勲夫 (昭和39年卒)

会報が届くのを毎年心待ちにしています。会報を読んでいる間は学生時代にもどります。あの即席ラーメンソースがけはおいしかった!

渋谷区

梨元 勝(梨元玲子) (昭和39年卒)

弊社代表取締役は、故梨元勝に代わりまして、妻玲子が引き継ぎました。娘梨元麻里奈も弊社所属タレントとして、より一層頑張つて参る所存です。

杉並区 島野博司 (昭和40年卒)

今年もクラス会を開催でき、十四名(含む女子二名)と再会でき、二次会まで元気に懇談しました。来年も元氣よく、再会しましょう。三年六組の皆さん、集合です。

さいたま市 安東英治 (昭和42年卒)

今年二人孫が増え八人に。四年先輩夫婦等としょっちゅう遊んでいます。ヘルニアですがまだまだ働かないとなので老体にむち打って頑張つてますよ。

龍ヶ崎市 益山 隆 (昭和42年卒)

担任は、滝本(地学) 松崎(数学) 華表(生物)各先生に、陸上部では、芥川・松崎(体育)先生にお世話になりました。出場した埼玉駅伝

が、想い出深いです。

さいたま市 永田喜雄 (昭和43年卒)

還暦同窓会、皆んな年輪を重ね大地に根を張っているようでした。幹事さん、ご苦労様でした。これからも、少量の水と栄養で、枯れないようにと誓ったところです。

さいたま市 吉野(新藤)カズ (昭和44年卒)

六月に定年になりました。毎日が日曜日状態です。健康のために西高のウラあたりを、ウォーキングコースにしようと思っています。坂東札所めぐりも始めました。

桶川市 安東(甘浦)直子 (昭和45年卒)

いつも会報をありがとうございます。

鎌倉市 浅野香代子 (昭和45年卒)

昨年、茅ヶ崎から鎌倉に転居致しました。愛犬の麦とさまさまにある山道を散歩しています。

江東区 石松千春 (昭和46年卒)

元日40年ぶりに同級生に再会した。その2週間後に42年ぶりに西高の同級生から電話をもらった。無性にうれしい!! 46年卒の諸君もつと西高を思い出そう!!

川越市 山村哲郎 (昭和49年卒)

一昨年来の不況から、人生僅か五十五年の中にも、諸々の事が降りかかって来した。思い起しても高校生活は、良かったと思います。

蕨市 大石 徹 (昭和50年卒)

西高通りの主であった与野駅東口の大櫓が遂に切られました。入学当時、工事で枯死寸前のものが奇跡的に復活したのに誠に残念です。最近思いやりが足りないね。

板橋区 石川理恵 (昭和51年卒)

一昨年の中学の同窓会の折、西高出身の恩師に「いつも会報に近況を書いてるな」と言われ、赤面。でも止めると何かあったと思われるそうなので、今年も書きます。佐藤先生、お変わりございませんか?

草草市

Drud (秋山めぐみ) (昭和54年卒)

昨年、桜の時期に一家で日本にまいましたけれど、なかなか高校までは立寄る事が出来ませんでした。只今休職して学生をしております。大変なことです。母代、大変頑張つて居ります。

川崎市 石原靖史 (昭和55年卒)

いつも会報をおくっていただき、ありがとうございます。編集に携

わっている方々は大変なご苦労をされていると思います。誠に頭が垂れる思いです。

仙台市 芳賀紀行 (昭和55年卒)

この4月、岩手県一関市から仙台へ転勤しました。

新座市 大下明美 (昭和56年卒)

西高時代の友人の結婚式で恩師の仲西先生にお会いしました。とてもお元氣で、気分はすっかり高校生になってしまったひとときでした。

越谷市 駒井(小室)敦子 (昭和60年卒)

大好きな兄を追って、西高に通いました。その兄(昭和55年卒小室宣朗)が昨年夏に急逝し、もう二度と一緒に西高の話ができなくなりました。淋しいかぎりです。

徳島市 細田 章 (昭和61年卒)

西高卒業後、栃木↓奈良↓埼玉↓ときて、今度は徳島です。それでもアカデミックな仕事できていいことを喜んでおります。

船橋市 綾部陽子 (昭和62年卒)

百人一首を覚える娘。高一の夏休み、森田先生から宿題として出されたのを思い出します。覚えていないようないなような・・・子供

の記憶力つてすごいなあ。

世田谷区 中澤淳人(昭和62年卒)

10年ぶりに東京勤務になりました。名古屋・大分と自然に囲まれての生活だったので、都市型生活に慣れるのが大変ですが、少しずつ都会の中の自然を探しています。

鴻巣市 小瀬隆一(昭和62年卒)

2009年12月より、二度目の海外赴任で韓国・ソウルに移り住んでおります。

千葉市花見川区

風間(金川)由美子(昭和63年卒)

転居して以来久しぶりに西麗会の会報が届き、西高を思い出し懐かしく読ませて頂きました。時々知っている名前をみつけ嬉しくなっています。

桶川市 鈴木(齊藤)久美(昭和63年卒)

元気にしております。先日、娘と西高の桜を見に行きました。とてもなつかしく、楽しい高校生活を思い出しました。

川口市 中村好志(平成元年卒)

先日小品展に出した僕の絵を見た会員さんに、あなたユニークな人じゃない?と言われました。現在は秋の大翔展と太陽美術展に出品

しています。

日野市 山田康一(平成元年卒)

西高を卒業して、北海道・ドイッ・横浜と転々としておりましたが、今は東京都日野市に妻と三人の子どもと楽しく過ごしております。

富士見市 山名(鶴見)朋子(平成元年卒)

夫の転勤で埼玉県富士見市に引越しました。十年ぶりに埼玉県民に戻りました。

杉並区 生井(秋原)裕子(平成元年卒)

慣れ親しんだ埼玉から都内へ引越ししました。子供が通う予定の中学校は私服なので、西高生のように学生らしいおしゃれを楽しんでくれればと思っております。

市川市 秋山(斎藤)美佐子(平成2年卒)

昨年大阪から市川へ転居しました。卒業して20年。そろそろ同窓会でもしたいですね。

春日部市 小峯(富永)浩子(平成3年卒)

西麗会の会報、ありがとうございます。今は、結婚と同時に仕事を辞め、二人の子供の母として育児に忙しい毎日です。

世田谷区 竹田素子(平成3年卒)

毎年桜の季節になると西高のなだ

らかな坂と桜の門を思い出します。一転、入学式はみぞれ交じりの冷たい雨雪であったことも忘れ難い良い思い出となっております。

富士見市 木村(斎藤)知子(平成4年卒)

新居に移り、ここ一年でずいぶん元気になってきました。やはり、西高時代からの友人に会うと、ほっとします。みんな、いつも支えてくれて、どうもありがとうございます。

板橋区 町田泰斗(平成5年卒)

板橋に住んでおります。また皆さんとお会いできる日を楽しみにしております。

さいたま市

豊永(和田)祥子(平成7年卒)

私、旧姓 和田祥子、結婚して豊永になりました。現在越谷西特別支援学校に勤務。娘二人息子一人の肝ったま母さんになり生々と暮らしております。女バス出身です。

さいたま市

前田(石坂)英子(平成10年卒)

結婚してさいたま市民、はからずも浦和区民となりました。西高時代からの友人ともつきあいが長くなり、度々思い出話に花を咲かせ、盛り上がっています。

横浜市神奈川区

河野(小山)典子(平成10年卒)

横浜で小学校教諭をしております。昨年長男が誕生し、現在は育児休暇を満喫中です。

旭川市 近野綾子(平成12年卒)

卒業から10年。今は浦和から遠く離れた場所にいますが、西高での3年は今も心の支えです。

墨田区 荒木真澄(平成13年卒)

都内の会社で働いています。今の自分があるのは高2の時「開セ」で劇監督の経験があったからと思いついています。西高で学んだ3年間は人生の宝になりました。

福岡市早良区 一ノ瀬暁(平成15年卒)

3月6日に結婚しました。福岡で心機一転、頑張っています。

さいたま市 元澤英悟(平成15年卒)

仲村トオルさんと緒川たまきさん主演の映画の脚本を書きました。『紙風船』というタイトルで2011年3月26日渋谷ユーロスペースにて公開されます。よろしく。

さいたま市 清水雄太(平成17年卒)

四月より社会人になります。

「未来の種」開かれる



昨年12月3日、西高体育館において、西高卒業生が直接在校生に自らの仕事体験を語る講演会「未来の種」が開催された。これは学校およびPTAが共催し、第1学年生徒および保護者を対象とした行事で、現在、第一線で活躍されている西高の卒業生を講師として招き、その仕事ぶりを聴くことで、1学年時から将来の進路先を真摯に考察させる機会として毎年開催されている。

昨年度から「西麗会」は、学校とPTAから西高卒業生の紹介を依頼されており、それに対して協力を行っている。昨年度は獣医師の須見はるなさん(H9卒)と旅館再生プロジェクトを行っている(株)星野リゾート勤務の狩野奈々子さん(H15卒)を紹介した。彼女らの講演は生徒や保護者から大変好評だった。

今年度は、多くの映画やCMの美術デザイナーとして活躍されている鳥羽絢子さん(H9卒)と、アニメや海外ドラマの声優として活躍されている新井里美さん(H11卒)という女性2人を講師として紹介した。

講演では、お二人がそれぞれに、自身の高校時代の話から、現在の仕事にいたるまでの経緯や経験を語り、プロジェクトターを用いて今までに仕事をした現場等



▲新井さん(左) 鳥羽さん(右)

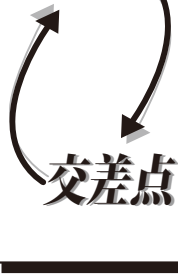
の写真や、実際に使用したデザイン、アフレコ台本などを映しながら裏話を含めた説明が丁寧になされた。またその場で実際にアフレコ実演を行ったりするなど、貴重な話が盛り沢山であった。

お二人の講演は共に新鮮で、生徒や保護者、教員までもが熱心に聞き入っており、講演終了後の質疑応答も含め、時間を大幅に延長して大盛況のうちに終了した。来年度についても、引き続き学校やPTAに協力し、「西麗会」として卒業生の紹介を行う予定である。

(文責 岩本和久)

新井里美さんは第5回声優アワードで助演女優賞を受賞!(3月5日)

情報交差点



- 女子バスケット部、女子バドミントン部、男子テニス部、男女剣道部はそれぞれ県大会に出場し、健闘しました。
- 女子サッカー部はインターハイ県予選にて第5位となりました。
- 本会会員、本校非常勤講師(美術) 齋藤悠紀さん(平成13年卒)は新人画家オーディションに合格し、2010年11月に銀座のギャラリー「近江」で個展を開きました。2010年11月19日付朝日新聞で紹介されました。
- 浦和西高校は「読書活動優秀実践校」として2010年4月、文部科学大臣表彰を受けました。
- 本会会員、井上こみちさん(昭和33年卒)は学研教育出版より『氷の海を追ってきたクロ』を出版されました。

教頭	本多 昇	市立山口高校へ
保・体	浦山 秀樹	退職
国語	小野澤 宏	退職
地歴	秋山 明乃	松伏高校へ
理科	笠原 久恵	南稜高校へ
事務室	田嶋 武司	与野高校へ
理科	荒井 理文	上尾橋高校へ
国語	生方 美代	春日部高校へ
英語	戸井田悦子	春日部東高校へ
保・体	谷川 晃之	浦和特別支援学校へ
非常勤講師	河瀬 泉	浦和北高校へ
保・体	松本 晴信	市立山口高校へ
非常勤講師	高田 勉	川越高校へ
保・体	倉成 俊之	川口工業高校へ
非常勤講師	小木曾康弘	南稜高校へ
保・体	古市久美子	任期満了
非常勤講師	藤ノ木久江	任期満了
保・体	竹田真奈美	任期満了
非常勤講師	井出 翔輝	任期満了

お世話になった先生方
平成22年度人事異動
(敬称略)

昭和45年(第22回)卒業生還「激」同窓会の開催(事前予告)

日時: 2011年11月19日(土)

12時から15時
16時から18時

場所: 浦和ロイヤルパインズホテル

2011年7月下旬から8月にかけて案内状を発送する予定です。案内状が届かない方は、西麗会事務局又はホームページのメールにて連絡ください。

二〇一〇年度

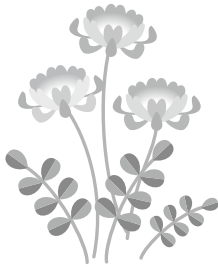
寄付者のお名前

(敬称略)

おわび

いつも西麗会への尊
いご寄付をありがとうございます。
約二万人の西麗会員の心を結ぶ
会報の印刷・発送にあ
てられるほか、現役西
高生の自治活動を応援
するため、西高祭補助
費などにも使わせてい
ただいております。

本欄は毎年一月末日
をもって区切り、それ
以後に届いた分は翌年
の会報に掲載いたしま
す。



二〇一〇年三月発行
「西麗会報」第34号掲載
の「寄付者のお名前」に、
以下の方のお名前がも
れておりました。

(敬称略)

昭和34年卒(11回)

亀江康裕

団体

昭和34年(第11回)

卒業生学年同窓会一同

尊いご寄付をいただ
きながらお名前が掲載
されず、申しわけあり
ませんでした。今後こ
のようなことがないよ
う編集にあたってまい
ります。今後ともご協
力をよろしくお願い
いたします。

西麗会広報部会

昭和13年卒(旧1回)

大浜愛子 寺内房江

昭和14年卒(旧2回)

稲葉千鶴 鎌木美恵子

上山好子

昭和15年卒(旧3回)

板井喜美 小泉ちよ

昭和16年卒(旧4回)

浅子一子 川崎澄子

小山貞子 篠崎治子

田口美興子 高橋美智子

月野喜美子 鶴見初枝

寺島慶子 富田友子

中村光子 松井孝子

渡辺富代

昭和17年卒(旧5回)

伊藤淑子

昭和18年卒(旧6回)

松村喜美 脇屋容子

昭和19年卒(旧7回)

井上昭子 高山正江

仲西芳子

昭和21年卒(旧9回)

石塚玉恵 薄田美江子

大熊綾子 清野幸子

昭和22年卒(旧10回)

森田綾子 吉野てい子

芦田ひさ 井上妙澄

内田君江 川上清子

白戸道代 中野敦子

昭和23年卒(旧11回)
江原喜久子 鈴木栄子
滝本昌子 角田美沙枝

中野政子 山岸さよ子

昭和24年卒(旧12回)

天野美子

昭和25年卒(2回)

河岡克子 小池幸子

鈴木和子 宮田仁子

昭和26年卒(3回)

小川君子 岡田幸子

粕川初枝 小出敏子

西村久美恵 宮山初枝

昭和27年卒(4回)

森川靖子 吉田克子

井原幸子 梅田亮子

昭和28年卒(5回)

菅沢秀夫 平岡幸子

田中忠明 橋本利子

昭和29年卒(6回)

細田喜一郎 島田幸子

前田正夫 大竹栄子

黒沢和子 小林稔正

松倉健吉 森久昭子

金子美里 西口和子

昭和30年卒(7回)

大室安太郎 小林茂水

貫井博之 早川智明

松崎洋右 吉永毅

青木悦子 新井節子

岩田澄江 加藤絢子

橋本充子 森井良子

森田文子 山内鞠

尾熊周三 大橋弘一
鈴木守 住谷貞夫
永堀清 萩原利治

石川允子 小川敏子

久保哥久子 鈴木和子

松崎喜美子 石井健之

大小原幸好 桑原敏明

鈴木正明 中山修

泉良子 加藤正納

荒井正廣 河田八郎

北村弘正 佐久間義広

清水英明 中井田浩

長谷川孝夫 原恵行

間島昭栄 増田敏勝

山田勝弘 伊地知恭子

石倉春美 金子幸子

鈴木美美子

昭和31年卒(8回)

松本晃 山根祥二

栗本東子 都築聿之

冷水俊朗 荒井利尚

昭和32年卒(9回)

今井忠 大岩昇

新藤善之 建部立夫

近藤聡子 稲垣一子

門本ヨリ子 金子悦子

小林久江 中川美眞子

栗原能 高木二郎

立川武司 中島幹雄

野中尚武 府川代四男

吉田勝次

昭和33年卒(10回)

関口彌 高村泰裕

豊島泰之 内藤光枝
古畑喜美子 長達彦
河村雅通 鈴木孝治

竹ノ谷光美 成田誠
町田利之 本庄久子
昭34年卒(11回)
山本富士子 小川紀夫
清山和男 久保勳
田村公一 間茂紀
黒木璋子 高村和子
齊藤肇 田中制示
高橋幸雄 堀野忠夫
和田達夫 中枝和子
三林芳子 川畑啓子
粕谷徳元 松浦イトエ
松尾喜代太 吉田維夫

昭35年卒(12回)
竹ノ谷裕子 広居美佐子
松村昭子 小池敏子
福田淑子 小川正一
高橋恵美子 高橋正臣
吉村克昌 針ヶ谷嘉浩

昭36年卒(13回)
豊田美根子 本橋妙子
村上明夫 秋山喜代子
小川敬子 小林茂
高橋司全 青山明子
匿名希望 野崎久男
齊須祥子 斎藤庸夫
高橋千劍破 豊島義明
金子武仁 林野宏

昭37年卒(14回)
秋山圭子 長本和子
藤田静子 森美津子
福島眞砂代 武田量三郎
田中純子 細田勝彦

昭38年卒(15回)
藤井克己 吉岡信二
昭38年卒(15回)
太田公子 入澤洋子
古谷紘子 高橋正弘
中河原喬一 木戸晃

昭39年卒(16回)
昭39年卒(16回)
那須雅江 山田菜穂子
青柳信子 村井公子
根本明徳 田中裕子
那須弘美 佐野和義
島村一彦 山田康博
後藤鉄四郎 永田裕
村井勝美 佐藤誠造
森茂 山田信彦

昭40年卒(17回)
昭40年卒(17回)
菅原安則 鶴岡保
市川薫 熊木謙論
白石清 前田静一
野口哲夫 吉田清
島野博司 中村邦子
金子揚子

昭41年卒(18回)
昭41年卒(18回)
大木葉博通 伊藤宮子
末藤明子 西野久美子
岡田康晴 神田敏男
江川清 佐藤裕子
関根耀子 高橋みつ子
池澤堯彦 佐野茂
増子啓三 篠原誠司
田村雄二郎 大熊幸雄
平田春夫

昭42年卒(19回)
昭42年卒(19回)
伊藤きみ子 今井八重子

昭43年卒(20回)
昭43年卒(20回)
阿部康夫 石川裕一
松田博 山形修
山岸勉 西村富夫
三谷真弓 木村美代子
本間葉子 松田章子
八木純子 横山千津恵
磯田喜美子 福田純
千谷一郎 片岡素子
山下和子 田部井功
安楽真知子 板野敏子

昭44年卒(21回)
昭44年卒(21回)
安藤昭 奥山清志
斎藤芳昭 関口彰子
丸山紀子 池亀利恵子
神原啓子 樋口千枝子
吉野力丈 中島恒雄

昭45年卒(22回)
昭45年卒(22回)
吉田和枝 齊藤俊一
島崎富夫 堀田美枝子
和田和子 綿貫保子
小沢千恵子 島茂美
島泰子 中野千枝子
小要昌久 林一雄
阿部博之 新井康俊
上野邦雄 神戸京子

昭46年卒(23回)
昭46年卒(23回)
田中敏雄 石松千春
船津徳英 早川和恵
岡田美枝子 武藤智江
福井一夫 堀富雄
野口万里子 今岡章夫
矢作哲也 細田陽子
白石哲郎 柳沢礼子
兼良子 小林恵美
福田定男 間山和幸
高橋理恵子 小谷野博史

昭47年卒(24回)
昭47年卒(24回)
安藤裕子 藤野佳子
吉倉康晴
武井隆一 加藤えみ子
島内則子 戸村順子

昭48年卒(25回)
昭48年卒(25回)
阿野清治 和田哲也
小林功 渋谷規行
昭54年卒(31回)
昭54年卒(31回)
松本和幸 信沢雅志
杉井美佐子 齋藤由美子
根本みどり 三上昌子
小野裕子 飯ヶ浜幸雄
佐藤雄一 飯ヶ浜由紀子
今原真理子 平井順子
田口久徳 田口里香
高橋かほる

昭49年卒(26回)
昭49年卒(26回)
昭50年卒(27回)
昭50年卒(27回)
清宮千加男 岩田由美子
道下敦子 栗原宏夫
富樫正紀 中川順子
竹内斎 若林伸也
若林裕子 大石徹
杉山純一 齊藤登
豊田勉

昭51年卒(28回)
昭51年卒(28回)
澤田雅市 沼口正英
山崎幸子 早船雅文
北原英治 満田三恵子
鳴原勝久 新谷稔

昭52年卒(29回)
昭52年卒(29回)
伊東洋子 関口幸子
三村優子 堀内比呂志
浅見哲哉 星葉子
昭53年卒(30回)
昭53年卒(30回)
新藤葉子 荒井正明
河野正 後藤美子
工藤登志也 内田圭子
石原早苗 鳥羽恵
渡部智博 赤羽明宏
阿野清治 和田哲也

昭55年卒(32回)
昭55年卒(32回)
昭56年卒(33回)
昭56年卒(33回)
友松利英子 千田寛
戸田仁 吉田厚子
吉岡典子 吉田新一
口久衣代 大塚紫
黒沢豊 宝寺浩
北川早苗 大下明美

昭57年卒(34回)
昭57年卒(34回)
田中和子 玉岡寿美子
船橋由美 伊藤京子
武内よしみ 石川理恵
江口啓子

昭58年卒(35回)
昭58年卒(35回)
田中和子 玉岡寿美子
船橋由美 伊藤京子
武内よしみ 石川理恵
江口啓子

昭59年卒(36回)
昭59年卒(36回)
田中和子 玉岡寿美子
船橋由美 伊藤京子
武内よしみ 石川理恵
江口啓子

- 昭和57年卒(34回) 石塚望 楠瀬久美子
- 山崎正一 松下晋司
- 昭和58年卒(35回) 工藤茂博 松村直子
- 久保村康史 大隅悟
- 佐藤真澄 根岸栄子
- 鈴木智行 寺田武史
- 昭和59年卒(36回) 広井慎一 羽田俊之
- 初田千秋 藤巻巖
- 伊藤育子 佐々木裕子
- 三野裕之
- 昭和60年卒(37回) 土田了輔 玄間千秋
- 中條覚 設楽信生
- 笠井千奈美 青木香
- 大熊康典 佐藤幸江
- 増田恵子 山本幸代
- 昭和61年卒(38回) 信田照幸 石川見子
- 石川幸 長谷川友孝
- 昭和62年卒(39回) 島村明美 溝口隆一
- 小瀬隆一 中澤淳人
- 長田由紀子
- 昭和63年卒(40回) 奥山信男 島田貴子
- 本間栄治 紅谷美奈子
- 紅谷弘二 鈴木久美
- 平成元年卒(41回) 加藤順子 山名朋子
- 笹本紀子 栗原英一
- 内山美穂子 豊嶋朗子
- 平成2年卒(42回) 福田修 松永智子
- 森切瑞恵 北原路子
- 奥山真理綾
- 平成3年卒(43回) 多田朋子 蓬田路子
- 小野民由希
- 平成4年卒(44回) 大西徹 梅澤正尚
- 橋本雅子 本間幸信
- 増沢智成
- 平成5年卒(45回) 山内美紀子 竹内大介
- 平成6年卒(46回) 岩本和久
- 平成8年卒(48回) 杉浦靖彦
- 平成9年卒(49回) 大塚信之介 タイガーマスク
- 平成10年卒(50回) 北村智夏 古山嘉美
- 平成11年卒(51回) 半田亮子 大木剛
- 平井博明 阿部愛
- 藤見歩
- 平成12年卒(52回) 今出早海 海老原朱里
- 近野綾子 小林由佳
- 平成13年卒(53回) 大栗利恵 相馬優一郎
- 原田尚仁 浅岡智裕
- 市村里紗
- 平成14年卒(54回) 榎本淳
- 平成15年卒(55回) 榊愛郎 平山藍子
- 平成16年卒(56回) 加藤まみ
- 平成17年卒(57回) 竹田英司 本城直樹
- 平成18年卒(58回) 金庭祐子
- 平成19年卒(59回) 掛川浩平 渡邊理紗
- 平成20年卒(60回) 蘆名伸明 池田和馬
- 平成21年卒(61回) 河合俊典 三野あやか
- 松田秀滉
- 平成22年卒(62回) 斎藤諒大 柴崎某利
- 和多田望
- 旧職員(旧職員)
- 和田幸男先生
- 団体
- 平成21年卒業生一同

訃報

謹んでお悔やみ
申しあげます。



○秩父市 田代喜美先生(家庭)

平成二十年二月二十日 永眠致しました。
(享年八十五歳) 田代一郎

○さいたま市 立石龍彦先生(英語)

平成二十年十二月十二日、龍彦は天国に旅立ちました。いろいろお世話になりました。
立石信子

○さいたま市 池田富蔵先生(数学)

西麗会総会のご案内ありがとうございます。
父は三年前、他界いたしました。 長女

○さいたま市 中野喜美先生(英語)

平成二十二年八月七日に逝去されました。

西高の春を彩ってくれた

ソメイヨシノにささようなら



春4月、西高は新入生を迎えてもっともはなやぎを感じる季節となります。

新入生たちが緊張の面持ちで正門を入ると、ユニフォーム姿の先輩たちが待ち構えていて部活動の勧誘です。急な坂をのぼるとその途中には生徒会手作りの横断幕が張り渡してあり、「その手で未来

を」、「自分の花を咲かせよう」などと書いてあります。

坂をのぼりきった新入生がふと、目を上げるとそこには威風堂々たるソメイヨシノが満開の花を惜し気もなく散らしています。この桜樹に迎えられる、新入生はしみじみと思いをかみしめます。「今日から、西高生になるのだ。」と。

けて栄養剤の「点滴」をしたり、幹に負担を与えないように枝を整理したり、と手を尽くして「延命治療」にあたりましたが、このたび、西高生の心に美しい思い出を残して、惜しまれつつ最期のときを迎えました。



西高のシンボルツリーとも言うべきソメイヨシノのない「遅刻坂」は、空がやたらに大きくて、なんだか落ち着きません。

半世紀にわたって西高生を見守り、地域の人からも愛された坂の上の桜樹はこのほどそのいのちを全うし、2010年8月2日に関係者の見守るなか、切り倒されました。

かなり以前から樹勢が衰えていることが心配され、西高が創立60周年を祝った1994年ごろには、根元が自動車の往来や登下校の際に踏み固められてしまうのを防ぐため、アスファルトの一部をはがして花壇にしました。

その後も「樹木医」の診断を受

気候温暖化の影響なのか、近年は3月中に開花してしまうことも多く、私たち教職員は「入学式まではなんとかもってほしい」と願い、もてばもったで今度は「クラス写真を撮るまで」と欲が出ます。願いが通じて満開の桜の下でクラス写真を撮っているとそこへ一陣の風が。すまし顔の西高生たちに花吹雪がふりかかり、女子生徒から歓声があがります。それはもう、夢のような光景でした。

（文責）小林 功・旧職員

あなたと、西高の桜の思い出、ケヤキの思い出等

お寄せください

西麗会HPか 同封のハガキでどうぞ。

消えた

西高通りの大ケヤキ

「遅刻しそうで大ケヤキなんか目に入らなかつたよ」「振られたショックで大ケヤキにむかってバカヤローと叫んだ」……。

思い出は色々ですが、西高に通う私たちをいつも暖かく見ていてくれた与野駅前、西高通り交差点の大ケヤキが、倒木の危険のため昨年、伐採されました。

西麗会理事で、旧制3回、昭和15年卒業の、ご近所にお住まいで大ケヤキや西高生をいつも見ていた松本登美さんが、西高通りの大ケヤキについて次のようなお便りをよせてくれました。

「西高が木崎に来た頃は、現在の西高通りはありませんでした。与野駅も西口だけでしたので駅から踏切を渡って中山道を左に、現リサイクル店を右にまがって昔の村道を並木酒店の裏を通って通学していたので「ケヤキ」は目につかなかつたと思います。

昭和36年頃、与野駅東口が出来、その後、中山道から産業道路まで整備さ

れ現在に至ると言うことです。」

西高通りの「大ケヤキ」は、学校へ急ぐ西高生や西高からの帰路につく私たちを見ていたのです。

その大ケヤキも寿命には勝てませんでした。

今、地元の人たちの手で、木の遺産

子を残した

り記念のモ

ニユメント

の設置が進

められています。

モ

ニユメント

は2011

年3月完成

をめざして

埼玉大学名

誉教授で彫

刻家の本田

貴侶(ほん

だ・たかと

も)さんが公開で作品制作にあたって

います。制作現場となった旧大原中学校跡地には見学者も訪れ、与野の大ケヤキがどのように姿を変えるのか、興味津々で見守っています。

(文責 村上明夫)



写真 松本登美理事

同窓会だより 今日だけ高校生

昭和41年卒 3年振りの同窓会

開かれる

選暦同窓会から3年、平成22年11月6日、昭和41年卒第18回生同窓会が、浦和ワシントンホテルで開催されました。

2ヶ月以上も前の通知が早すぎたの



▲2010.11.6 浦和ワシントンホテルにて

か、開催日を失念し来ることを忘れた人や当日の都合で、106名の出席回答に対し、最終的には99名が出席しました。

乾杯のあと直ぐに集合写真(上)を撮って、帰りには六つ切りプリントをお配り出来ました。

あちらこちらで「誰だっけ」の声がある一方、西高の自由な校風を懐かしむ昔話に花が咲き、あつと言う間の3時間でした。

長時間立っついていられないお年になったので、10テーブルの着席スタイルで、フォークダンスの際には部屋いっぱいになり大粋の輪が広がり、振りを思い出しながら楽しみました。

「この素晴らしい愛をもう一度」とテープ伴奏付き校歌の斉唱でお開きとなりました。

市民会館うらわに二次会も用意され半数以上の方が参加して、至福の時間を過ごしました。(大熊幸雄)

第2回西麗医会 (浦和西高卒医師の集い) 開催される

平成22年12月25日、2回目の西麗医会が割烹「千代田」にて田部井校長をお招きして開催された。

今回は参加者8名、遠く三島から荻野先生(精神科)も駆け付けて頂けた。自己紹介、近況報告後に田部井校長から西高の現況と今後の課題、特に進学



▲参加者前列左から野口哲夫S40卒；整形外科(川口)、田部井校長S43卒、荻野靖典S37卒；精神科(三島)、丹野瑳喜子S40卒；川口保健所長、後列左から古藤雅彦S45卒；内科(浦和)、福田純S43卒；内科・循環器(戸田)、宮崎通泰S36卒；産婦人科(小川)、阿部理一郎S41卒；内科(浦和)、福田定男S47卒；内科・消化器(鳩ヶ谷)

(福田 純)

校(教育強化拠点校)として、今のままだではいけない苦悩を吐露して頂いた。その中には西高の自主自律の精神にのっとった自由な校風、伝統との葛藤が現場を預かる責任者としての生の声が述べられ、参加した者はこの発言を重く受け止めた。特に校長在任中は「一人も医学部に進学した者はいない」との現状は、当西麗医会の発展存続と深く関わる事でもあり、校長の何とか「西高から医学部合格者を出したい」との熱い思いには参加者全員が賛同した。

今回は平成23年8月ごろの開催予定とし、さらに参加者を増やすべく西麗会報に投稿し参加者を募り、我々卒業医師達が母校のために応援できる事を模索していきたいと考えている。

編 集 後 記

西麗会の会員の皆さんお元気ですか。西麗会会報をお送りします。編集委員一同、一生懸命作業しました。また、貴重な原稿やお便りを寄せて頂いた会員の方、本当にありがとうございます。遅刻坂の桜と与野駅前の大ケヤキが寿命で無くなりました。でも、西高は健在です。どうか紙面から弾むような西高の姿を感じてください。

(村)

広 報 部 会

- 村上 明夫(昭和36年卒)
- 大熊 幸雄(昭和41年卒)
- 本間 葉子(昭和43年卒)
- 齊藤 俊一(昭和45年卒)
- 小林 功(昭和54年卒)
- 岩本 和久(平成6年卒)
- 片岡 浩一(平成10年卒)

発行・編集 西麗会

発行人 高橋幸雄
編集人 村上明夫

〒330-0042

埼玉県さいたま市浦和区木崎3-1-1

FAX 048 (830) 1117

西麗会メールアドレス

seireikai@urawanishi-h.spec.ed.jp

西麗会ホームページ

http://www.seireikai.org/